

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計 : 6,441 件)

●直近の状況 (発表日ベース)

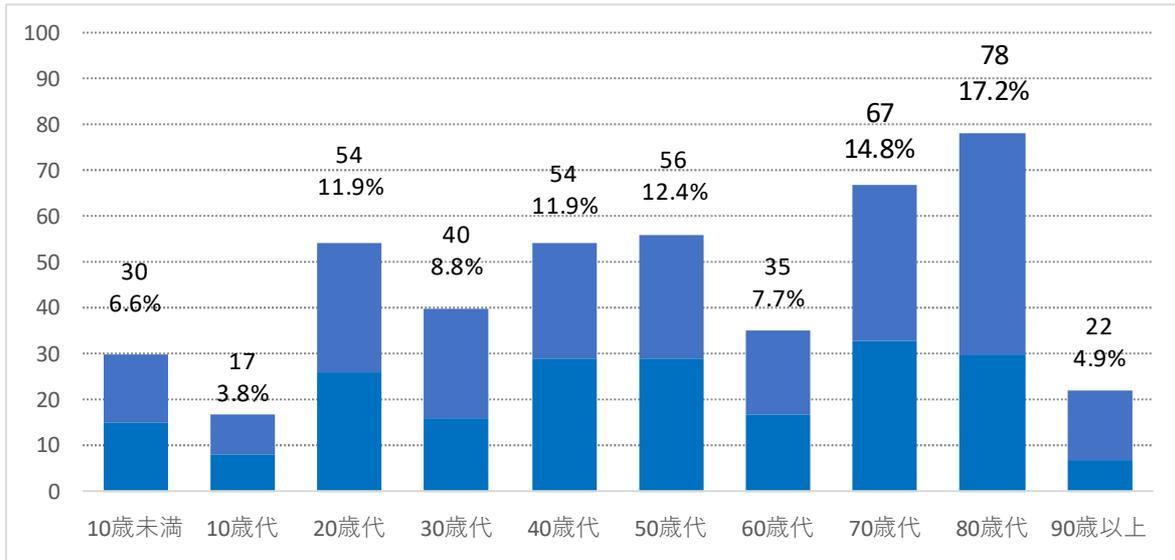
3月15日～3月18日 94人 (前週の同日比 +13人, +16%)

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	3/15～3/18	3/15	3/16	3/17	3/18			
	感染者数	17	23	30	24			
	累計/週	17	40	70	94			
	先週比 (累計)	+12	+14	+24	+13			
	先週比 (%)	+240%	+54%	+52%	+16%			
先週	3/8～3/14	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14
	感染者数	5	21	20	35	30	26	14
	累計/週	5	26	46	81	111	137	151
先々週	3/1～3/7	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7
	感染者数	13	26	21	14	20	9	34
	累計/週	13	39	60	74	94	103	137

- ・ 3月18日 (木) 18時現在, 感染者数の累計は6,441件。
- ・ 新規感染者数は2月22日～28日には一桁台に減少したが, その後再び増加し, 現状, 本市においては1日あたり20人～30人程度の新規感染者が発生している。

(2) 年代別の発生届出状況 (2/18~3/17の累計)

- 直近1か月の年代別の発生数では、80歳代が78件と最も多い。



(3) クラスターの発生状況

- クラスターの発生状況としては、3月18日現在、累計で77件。
- 市内での感染者数が増加に伴い、感染した職員などにより、施設・病院に広がるケースが多くなっていると考えられる。
- 感染している場合でも症状が軽いため、早期に発見することが困難な場合も多く、拡大した後に把握される事例があると考えられる。

	件数				患者数	
	3/3~5/20	6/23~9/23	9/25~3/18	計	全期間	割合
保育園・学校	1	3	11	15	156	8.7%
高齢・障害福祉施設	1	2	20	23	559	31.0%
病院	2	1	15	18	901	50.0%
公的機関	2	0	2	4	48	2.7%
民間事業所	0	0	5	5	45	2.5%
種類提供飲食店	0	2	5	7	49	2.7%
スポーツ・娯楽施設	0	0	5	5	44	2.4%
合計	6	8	63	77	1,802	

(4) 変異株について

①変異株の概要

ウイルスは常に少しずつ変異することが知られており、新型コロナウイルスについても2週間程度で変異を繰り返していると言われている。この変異の中で、病気の感染力や免疫効果の低下に影響があると考えられる変異の有無を見ていくことが必要である。

現在、ヒトの細胞と結びつく部分に変異し、感染力の増加が懸念される①英国型(N501Y変異)の変異株や、感染力の増加に加え、免疫効果の低下が懸念される②南アフリカ型とブラジル型(N501Y変異+E484K変異)の変異株、さらには③新たな変異株(E484K変異のみ)の3種類の変異株が確認されている。

②本市の対応

神戸市では、検査の精度管理やクラスター事例の事後検証のため、市内医療機関の協力を得て全陽性検体の約70%を神戸市環境保健研究所で収集、保管し、自らゲノム解析を実施。この体制を活用し、変異株の発生以降も、変異株を迅速かつ的確に検出できる監視体制を整えている。また、変異株の状況について、市民に定期的に正確な情報発信を行う。

神戸市内の変異株確認状況

○N501Y変異(変異株①・②) ※これまでの神戸市内のすべてのN501Y変異株は英国型)

検体採取日	市内新規陽性者数	変異株検査数	市内陽性者に占める検査数割合	変異株確認数	検査数に占める変異株の割合
1月1日-1月28日	1,962	677	34.5%	0	0.0%
1月29日-2月4日	317	173	54.6%	8	4.6%
2月5日-2月11日	175	105	60.0%	11	10.5%
2月12日-2月18日	122	79	64.8%	12	15.2%
2月19日-2月25日	50	32	64.0%	7	21.9%
2月26日-3月4日	97	67	69.1%	26	38.8%
3月5日-3月11日	158	105	66.5%	58	55.2%
計			64 (3/4時点) ⇒	122	(3/11時点)

○E484K変異(変異株③)

10(3/4時点) ⇒ 12 (3/11時点)

神戸市内 計

74 (3/4時点) ⇒ 134 (3/11時点)

(空港検疫関連の陽性者は計上せず。変異検査数には陰性確認を含めず。)

2 医療提供体制

(1) 医療提供体制の現状

入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

	直近の木曜日			【参考】 過去の入院・入所患者ピーク (6月～9月) (3月～5月)	
	3/18	3/11	差	8/23	4/25
入院・入所患者	210人	131人	+79	96人	140人
入院患者数	155人	115人	+40	72人	106人
(うち重症)	(18人)	(14人)	+4	(8人)	(9人)
宿泊療養施設入所患者	55人	24人	+31	24人	34人
自宅療養者	34人	42人	-8	—	—
入院調整中	73人	53人	+20	50人	14人

※市内在住者の数字

- 入院が必要な患者については、適切な感染予防策が取れる医療機関へ入院するとともに、軽症または無症状の患者については、医師の判断により宿泊療養施設に入所している。また、1月21日より、宿泊療養施設の入所よりも自宅での療養が適切な方については、一定の条件を設けて自宅療養を実施している。
- 1日あたりの新規感染者数は2月22日～28日は一桁台に減少したが、その後再び増加し、現在は20～30人程度となっている。
- 日々の新規感染者について濃厚接触者の割合は少なく、全くの新規の割合が高くなっている。そのため、有症状で入院となる方が多いことから、一時は50%を切った病床使用率も3月18日時点で74%（139床/189床）となり、再びステージ4（病床使用率50%以上）となっている。特に重症患者は過去最大の18人となっている。
- また、介護の必要な高齢者の入院が多く、スタッフの人手を要することから、入院調整は厳しさを増している。
- これらのことから、医療提供体制は予断を許さない状況となっている。
- この状況を踏まえ、今後、さらに病床使用率が高くなる場合に備え、市民病院機構において、再び「通常医療の制限によるコロナ病床の確保に向けた準備」を行うよう要請した。
- 緊急事態宣言中は、医療提供体制の危機的な状況に対応するため、市民病院の通常医療を制限するなどし、コロナ病床の確保を行っていたが、感染者数が減少してきたことから、3月1日より制限の段階的な緩和を進めていた。
- しかし、西神戸医療センターが通常医療の制限解除の準備段階で、再度感染者数が増加に転じたため、通常医療の解除及びコロナ病床から一般病床への移行は完全には行っていない状況であった。

○確保病床数

	1月22日	追加病床	2月8日	3月18日
市民病院機構	97	28	125	103
中央市民病院	46※	0	46	46
西市民病院	28	15	43	28
西神戸医療センター	23	13	36	29
その他の医療機関 (15病院)	63	23	86	86
合計(18病院)	160	51	211	189

※臨時病棟 36 床，感染症病棟 10 床

○市民病院での医療制限

	外来	入院	手術
中央	影響なし	2割程度削減	2～3割程度削減
西	影響なし	2割程度削減	2割程度削減
西神戸	影響なし	2割程度削減	2割程度削減

※救急外来について

ウォークイン：各病院とも通常どおり

救急搬送：対応可能な病床の範囲内で受け入れ

○重症患者病床使用率(3/18時点) 78.0%(32床/41床)

うち重症者のみの使用率 43.9%(18床/41床) ※重症者18人は過去最大
(内訳)

・中央市民病院(重症者専用病床)：28床/36床

重症(1西A)	14人	計28人
中軽症～重症(1西B)	14人	

・神戸大学附属病院の重症者専用病床：4床/5床

医療提供体制等の負荷

①病床のひっ迫具合（病床の占有率） 3/18時点			②療養者数 （人口10万人あたり）
病床全体	うち重症者用		20.8人 3/18時点
最大確保 66% (139/211) 現時点の確保 74% (139/189)	最大確保 63% (32/51) 現時点の確保 78% (32/41)	うち重症者のみ 最大確保 35% (18/51) 現時点の確保 44% (18/41)	
ステージⅢの指標 最大確保20%以上、現時点の確保25%以上			
ステージⅣの指標 最大確保50%以上			ステージⅢの指標 15人以上
※最大確保とは、神戸市がピーク時に向けて確保しようとしている病床数です。			ステージⅣの指標 25人以上

監視体制	感染の状況		
③PCR陽性率	④新規報告数 （人口10万人あたり）	⑤直近1週間と先週1週間の 比較	⑥感染経路不明割合
4.0% 3/8~3/14	9.5人 3/12~3/18	3/12~3/18 144人 3/5~3/11 158人	40.3% 3/12~3/18
ステージⅢ・Ⅳの指標 10%	ステージⅢの指標 15人 ステージⅣの指標 25人	ステージⅢ・Ⅳの指標 直近一週間が 先週一週間より多い	ステージⅢ・Ⅳの指標 50%

■ ステージⅢの基準に達している。

■ ステージⅣの基準に達している。

※市外在住者を含む

(2) 宿泊療養施設の現状

- ・医療機関の負担を軽減し、新たな入院患者の病床を確保するため、市内3施設において合計298室を確保
- ・3月18日時点で、58名入所中であり、全体の占有率は19.5%

施設名	入所状況 (3/18 16時 時点)
ニチイ学館 ポートアイランド宿泊棟 令和2年4月11日～	30室/100室 (30%)
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前 令和2年8月19日～	17室/110室 (15%)
東横INN 神戸三ノ宮 I 令和2年12月19日～	11室/88室 (13%)

※市外在住者を含む

(3) 自宅療養の現状（3月18日時点 34人）

(ア) 対象者

次の①かつ②に該当する者。

- ①無症状または軽症で、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）が96%以上の者
- ②独居の者は、自ら健康管理できる方で感染症対策の取れる方や、同居者がいても個室隔離や消毒などの感染症対策の取れる者

(イ) 健康観察

各保健センターが以下の通り自宅療養者の健康観察を実施。

- ①健康管理アプリ（2月4日より運用開始）または電話にて1日1回本人の健康状態を確認しており、必要に応じて訪問も実施。
- ②症状の悪化を早期に見つけるために、パルスオキシメーター（経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）を測定する機器。全市で1,000台を確保。）を全員に貸し出し、本人による1日2回のチェックを実施。
- ③自宅療養中に状態が悪化した場合は、24時間対応の区の保健センターに本人から連絡していただき、中等症・重症になる恐れがある方を迅速に把握するようにしている。その際、救急搬送が至急必要な場合は、消防局と連携をとりながら入院先の調整を行い、救急車での搬送を実施。

(ウ) 自宅療養支援セット

令和3年2月8日より、自宅療養となった方のうち、食料調達が困難な方には10日分の食品（レトルト食品、飲料など）と日用品（マスク、手指消毒薬、ゴミ袋など）を無償で配布。

3月17日現在75セットを配布済み

○自宅療養支援セットの送付年代数（3月17日時点）

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
12人	4人	14人	9人	17人	10人	5人	3人	1人	0人	75人

3 感染拡大防止

(1) 相談状況（令和2年1月27日～令和3年3月13日）

相談窓口	件数（件）
①各保健センター（令和2年1月29日～）， 保健所予防衛生課（令和2年1月27日～）	13,309
②新型コロナウイルス専用健康相談窓口（令和2年2月1日～） ※旧「帰国者・接触者相談センター」の件数含む	95,175
③チャットボット相談（令和2年5月20日～） 聴覚障害のある方や電話が苦手な方でも時間と場所を問わず，スマートフォン・タブレット等画面で気軽に相談先や受診先を確認できるツール。	40,745
計	149,229

※専用健康相談窓口最大相談件数：4月13日1,047件

※専用健康相談窓口直近（1週間）平均相談件数：121件（令和3年3月7日～3月13日）

(2) PCR検査体制について

市内で一日あたり最大682検体の検査体制を確保。

（当初令和2年1月末時点24検体（環境保健研究所のみ）→令和3年4月1日～1,300検体）

検査機関名	検査能力	備考
環境保健研究所	142 検体/日	当初24 検体
シスメックス検査センター	300 検体/日	
市内医療機関	200 検体/日	
医師会設置 検査センター	40 検体/日	検査センター移転拡充（11/30～） （ドライブスルー方式）
プール検査	618 検体/日	令和3年4月1日～
合計	1,300 検体/日	

(3) 積極的検査の実施状況

(ア) 医療機関，福祉施設，学校園

- ・患者発生の場合，国基準（濃厚接触者）を超え，積極的検査を引き続き実施する。

(イ) 酒類を提供する飲食店（8月20日から開始）

- ・地域クラスターに拡大する可能性をより早期に積極的に防止していくため，11月19日より「基本的に店名は公表しない」こととして積極的に検査申し込みができるようにし，市内飲食店（約14,000件）に12月11日に通知した。
- ・検査実績 34店 203名うち11月19日以降では31店186名

(ウ) 介護・障害入所施設の職員に対する積極的検査

- ・検査資源を最大限・効果的に活用しながら、クラスターの防止と医療提供体制の安定的な確保のために、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、障害児・者入所施設の直接処遇職員に対して積極的検査を11月25日から実施。

※施設の職員約5,900人(125施設)に対し順次実施

- ・検査実績 90施設 3,929件

- ・さらに、民間検査機関によるプール検査(4検体をまとめて検査を行う)を活用することで、令和3年4月から、対象施設を老人保健施設、グループホーム等の入所施設に拡大し、さらに国が示している検査対象施設の範囲を超えて通所施設にも拡大。(通所施設については政令市初)

- ・対象施設及び対象者

高齢者・障害児・者入所及び通所施設における直接介護等に従事する職員

【入所施設】 高齢施設 特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、ケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

障害施設 施設入所支援、障害児支援施設、共同生活援助(グループホーム)

【通所施設】 高齢施設 通所介護(デイサービス)、通所リハ、地域密着通所

障害施設 生活介護(デイサービス)、短期入所、自立訓練、就労継続支援(A)、就労継続支援(B)、就労移行支援

※下線：令和3年度追加実施施設

※国の要請を超えて通所施設についても実施

- ・検査施設数及び検査人数

検査手順に同意した施設 最大約1,600施設(約38,000人)

※令和2年度の計画的検査(令和2年11月25日～令和3年3月末日)における同意率は約50%

- ・検査期間

令和3年4月1日～半年程度(ワクチンの接種状況による)

月1回程度のペースで定期的に実施

※これまで、検査手順に同意した全ての施設の検査完了に約4か月を要していたものを、プール検査の活用により約1か月に短縮

※更なるサーベイランス体制強化のために、検査対象を「ワクチン未接種」の施設とすることにより、更なる検査期間の短縮を行い、最終的には2週間程度を目指す。

(エ) 陽性患者発生の高齢・障害者入所施設への重点的な検査(12月1日から開始)

高齢者・障害者入所施設において、陽性患者が発生した場合(新規発生・施設での積極的検査による発生)、上記に優先して、当該施設の入所者及び直接処遇職員の全員に対して検査を実施。

- ・検査実績 25施設(40回) 1,494件

4 医療機関支援

(1) 新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援補助金

(ア) 入院勧告を受けた患者及び擬似症患者の入院受け入れに対して、

- ・患者1人あたり 12,000円×入院日数（上限20日）
- ・平日1人1回 30,000円，土日祝1人1回 60,000円を加算

(イ) 検査のための検体採取に対して、

- ・令和2年4月1日～5月21日（非常事態宣言中）の採取 4,000円×被検査人数
- ・令和2年5月22日以降の採取 3,000円×被検査人数

(2) こうべ病院安心サポートプラン事業補助金

(ア) 院内感染防止基本対策

個人防護具着脱手順の再徹底研修，i P a dなどの感染症患者との遠隔コミュニケーションツールの活用など，市が掲げる取り組みのうち3つ以上の実施に対して，1月あたり30万円

(イ) 院内感染防止追加対策

基本対策に加えて，原則として10床以上の新型コロナウイルス感染症専用ゾーンを1月あたり1週間以上の設置に対して，1月あたり550万円

(ウ) 発熱等救急患者受入れ対策

発熱等の症状を有する救急患者の入院受け入れに対して，患者1人あたり3万円

(3) 遠隔ICUシステム（3月16日現在，6医療機関で導入）

重症化を恐れて感染症患者が市内医療機関から中央市民病院に早期に転送されることを抑制し，中央市民病院が重症患者への対応を重点的に行うことができるよう，株式会社T-I C Uが提供する「遠隔ICU（集中治療支援）システム」を市内の医療機関に導入し，T-I C Uに登録している集中治療専門医が待機するサポートセンターとネットワークでつなぎ，生体情報モニター，電子カルテ等の情報を共有してコンサルテーションを行う。

また，中央市民病院が感染症指定医療機関としての実績を踏まえ，T-I C Uに対して新型コロナ患者に係る知見を共有し，治療方針等の助言を行う。

(4) コロナ治癒後の転院促進

新型コロナウイルス感染症から回復した後，引き続き入院管理が必要な患者について，病状に応じた適切な医療機関，病床等で療養いただき，救急等の通常医療の病床を確保することが医療提供体制のために必要である。

万が一，受入患者を発生源とした院内感染が発生した場合で，保健所からの指示による病院閉鎖に伴い新規入院患者の受け入れが減少すること等に対する補填を行う。

5 風評被害対策など

(1) 風評被害対策・正確な情報発信

新型コロナウイルス感染は特別なことではなく誰もが感染する可能性があること、新型コロナウイルス感染症に関わる人々にあたたかいまなざしを送ってほしいことについて、駅のデジタルサイネージ等を活用して啓発（下記参照）。

偏見を生む主な理由として、正確な知識・情報の不足による不安があることから、その不安解消のため、例えば、新型コロナウイルス感染症は空気感染ではなく飛沫感染及び接触感染であることなどの基礎知識や、受診・検査や入退院などのフローチャートを市のホームページに掲載するなど、正確な情報を発信する。

令和2年9月より募集していた医療従事者等へ感謝の気持ちを伝える感謝・応援メッセージ（41件）を市内医療機関等へ送付。

また、感染症の知識や正しい行動について普及啓発ができる動画や、ワクチンの効果・安全性について説明する動画を作成し、市のホームページやワクチン集団接種会場、YouTube等を通じて配信していくこととしている。



(2) 患者本人や家族等コロナの影響を受けた方へのメンタルケア対策の取り組み

各区保健福祉部や精神保健福祉センターの専用電話等において、保健師及び精神保健福祉士等がこころの相談を実施。

- ・相談件数 304 件（令和2年2月～令和3年2月末時点）

(3) 医療従事者等への心のケアにかかる電話相談窓口の設置

医療従事者や社会福祉施設従事者等に特化して、心のケアを行うことを目的に6月26日から電話相談窓口を設置。

- ・相談件数 184 件（3月15日時点）

(4) 自殺防止電話相談窓口の運営等

精神保健福祉センターにおける自殺防止電話相談窓口の運営（令和2年12月～2回線増設し計4回線）

- ・相談件数（令和2年1月～12月）3,405 件（前年比 115%）
（令和3年1月～2月）684 件（前年比 137%）

6 市民への要請状況

(1) 感染再拡大（リバウンド）防止の取り組み

兵庫県内でも継続的に感染が確認されている変異株の影響を注視していく必要がある中、年度末及び年度初めの恒例行事での会食等を通じた感染再拡大（リバウンド）を防ぐために、市民・事業者に対して、以下の取り組みについての呼びかけ等を実施する。周知・呼びかけにあたっては、若年層にも有効な SNS・YouTube などの広報媒体も最大限活用し、市民に対して具体的行動を呼びかける取り組みを一層徹底して行う。

また、感染症の知識や正しい行動について普及啓発ができる動画や、ワクチンの効果・安全性について説明する動画を作成し、市のホームページやワクチン集団接種会場、YouTube 等を通じて配信していくこととしている。

<基本的感染防止対策>

- ①「大人数での会食は控える」こと。また、「少人数の食事でも会話を控え、距離をとる」こと。
 - ・真正面を避け、斜め向かいに離れて座る。
横並びや真正面に座る際は、1メートル以上の距離をとる。また、国の分科会が提示する、下記の事項を踏まえ、注意喚起を行う。
 - ・会食の参加者を「いつも近くにいる4人まで」に絞る（同居家族は除く）。
 - ・食事の際は、深酒・大声を避けて短時間で済ませる。
- ②年度末年度始めに向けて、卒業旅行、謝恩会、歓送迎会は控え、花見は宴会抜きで行う。
- ③市民・事業者に対して、市役所・区役所への申請・届け出・報告等の手続きのオンライン申請の積極的活用を呼びかけること。
- ④日頃から3つの「密」（密閉、密集、密接）が発生する場所を徹底して避けること。
- ⑤業種毎の感染拡大予防ガイドライン等に基づく感染防止対策（換気、人数制限など）がなされていない施設等への出入りを控えること。
- ⑥国及び県の方針に基づき、在宅勤務や、ローテーション勤務、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取り組みを継続するほか、職場における健康管理を引き続き徹底いただくこと。
- ⑦業種や施設の種別ごとの感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止対策を徹底すること。
- ⑧施設・イベント等での「兵庫県新型コロナ追跡システム」の積極的な登録および市民へのQRコード読み込みの呼びかけを実施するほか、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を呼びかけること。

(2) 市民の行動変容を促す取り組み

市民の行動変容を促すために、中央市民病院や保健所で働く職員が医療現場の現状を伝えるメッセージを、You Tube による動画やポスター・チラシ等により発信している（令和3年3月19日時点動画再生件数：136,272回）。

また、普段の生活で気を付けるべき感染防止対策を、若い世代へ改めて注意喚起していくため、Twitter や Instagram などの SNS を活用し発信している。

7 新型コロナワクチン

(1) ワクチン接種の意義

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防するものであり、新型コロナウイルス感染症対策の切り札である。(発症予防効果は約 95%と報告されている。)

多くの市民に接種を受けていただくことにより、

- ①例えウイルスに感染しても、発症や重症化を防ぎ（接種を受けた本人の健康）、
- ②入院患者が減少することにより病床のひっ迫を防ぐこと（発症者・重症者の発生抑制による医療提供体制の安定化）

につながる。

神戸市においても新型コロナウイルス感染症対策の決め手として、市民に迅速でスムーズな接種が行えるよう必要な体制を整えるとともに、より多くの市民に対してワクチンの効果、安全性などの正しいデータを周知することにより、積極的に接種を呼び掛けていく。

なお、新型コロナワクチンの接種は、予防接種法上、接種を受ける努力義務があるとされている。ただし、妊婦については接種データが少ないため努力義務から除外されている。

さらに、ファイザー社の新型コロナワクチンについては 16 歳以上が薬事承認の対象となっているため、16 歳未満は接種対象外となっている。

(2) 推進体制

①ワクチン接種対策室設置（令和 3 年 1 月 18 日設置）

接種率向上や迅速なワクチン接種に向けた体制構築にあたっては、全庁挙げて協力することとしており、今後も事業の進捗に応じて引き続き体制を強化する。

（2 月 15 日 厚生労働省予防接種室（自治体サポートチーム）に職員 1 名を派遣）

②神戸市新型コロナワクチン接種連携本部設置（令和 3 年 2 月 5 日設置）

神戸市・一般社団法人神戸市医師会・公益社団法人神戸市民間病院協会・一般社団法人神戸市薬剤師会の四者合同で「神戸市新型コロナワクチン接種連携本部」を設置。

公的病院の協力も得ながら、高齢者をはじめとする一般市民向けのワクチンの迅速な接種に向け、連携して取り組むこととしている。

神戸市	接種券の送付、予約システムの構築、集団接種会場の確保・運営、ワクチン供給調整等
神戸市医師会	集団接種会場への医師出務の協力、診療所等での個別接種
神戸市民間病院協会	病院での個別接種、集団接種会場への看護師出務の協力
神戸市薬剤師会	集団接種会場への薬剤師出務等の協力、ワクチン管理

(3) 想定スケジュール

3月 1日	専用コールセンターの開設
3月 14日	集団接種会場におけるシミュレーション
4月 12日	高齢者施設での優先接種を段階的に開始
4月下旬以降	接種券（高齢者優先接種）の郵送（3ヶ月程度での終了を目指す）

(4) 市内ワクチン配送ネットワークの構築

① 「市内配送拠点」の設置

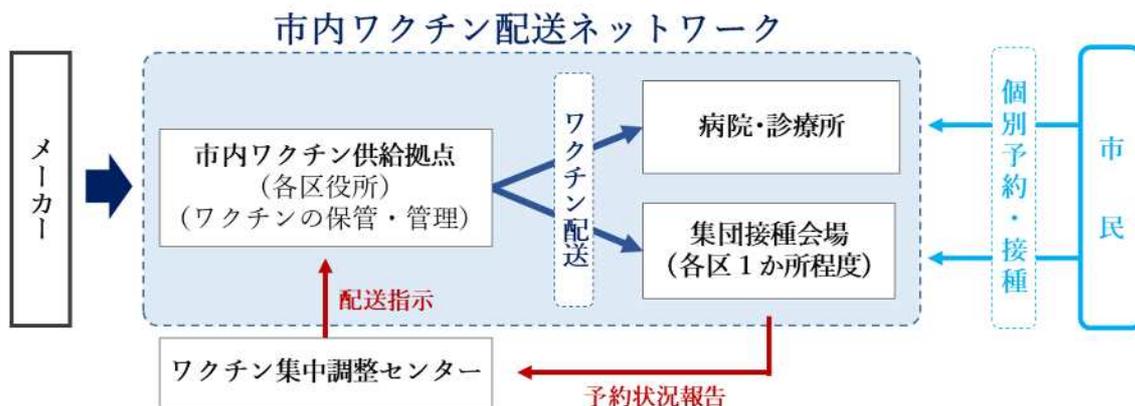
ワクチンを集中管理し、接種場所へ効率的に配送するために、神戸市独自策として「市内配送拠点」を各区役所に設置。

② 「ワクチン集中調整センター」の設置

市内のワクチンの状況を網羅的に把握し、必要な接種場所に、必要な量を即時に配分するための神戸市独自策の「ワクチン集中調整センター」を設置。

（参考：神戸市へのワクチンの供給予定）

3月 1日の週	(6,825 回接種分)	※医療従事者等向けワクチン
3月 8日の週	(6,825 回接種分)	※医療従事者等向けワクチン
※3週間後に同量の2回目接種分ワクチンが提供される予定。		



(5) 接種場所

市民に身近で健康状態を良く把握している病院・診療所等での「個別接種（3月15日時点約580か所）」と、かかりつけ医がない方や診療所等の開院時間での接種が難しい場合などに備えた「集団接種会場」での接種を組み合わせる実施。

○ワクチン集団接種会場（市内12か所）

①各区1か所（北区・西区は2か所）に開設

東灘区	御影公会堂
灘区	JR灘駅 駅舎3階
中央区	三宮OPA2
兵庫区	兵庫区役所
北区	①北区文化センター、②エコール・リラショッピングセンター
長田区	長田区文化センター
須磨区	須磨区役所
垂水区	垂水文化センター
西区	①西神中央駅ビル、②西公会堂(4・5月)⇒西水環境センター玉津処理場(6・7月)

- ②車ででの来場（広域アクセス）が便利な接種会場
イオンモール神戸南（兵庫区内）

（6）集団接種シミュレーションの実施

新型コロナワクチンの集団接種を円滑に進めていくため、受付から予診票の確認、接種、接種後の経過観察までの流れを確認し、課題点の把握を行うことを目的として、3月14日（日）に集団接種会場における接種のシミュレーションを実施した。今後、浮かび上がった課題への対応策を検討する。

（シミュレーション概要）

日 時：3月14日（日）13～14時

場 所：兵庫区役所みなとがわホール

実施団体：神戸市新型コロナワクチン接種連携本部

（神戸市，神戸市医師会，神戸市民間病院協会，神戸市薬剤師会）

内 容：接種場所3ブースを設置，60名の市民に接種する流れの確認

予診票チェックや接種準備にかかる時間や課題点の把握

アナフィラキシーが発生した場合の緊急時対応の実践

課 題：会場内外，特に経過観察スペースでの人の滞留が目立った点

あらかじめ予診票を記入した来場者が少なく，記入に時間を要した点

接種の際の服の着脱に時間を要した点



（7）ワクチン供給状況と接種実績

① 医療従事者向けワクチン

3月5日（金） （6,825人第1回目接種分）

3月11日（木） （6,825人第1回目接種分）

3月29日の週 （2,925人第1回目接種分）

※いずれも3週間後に同量の2回目接種分ワクチンが提供される予定

② 接種実績（3月15日時点）

接種回数	内1回目	内2回目	接種施設
4,828回	4,828回	一回	11施設

③ 高齢者向けワクチン

4月5日の週 （485人接種分）

4月26日の週 （485人接種分）

(8) 高齢者への接種

神戸市には4月から高齢者向けのワクチンが提供されるが、4月中に提供される高齢者向けのワクチンは限られた量となることから、神戸市では、高齢者向けのワクチン接種を段階的に開始することとし、クラスター対策の観点から、まずは高齢者入所施設の入所者及び従事者を対象として実施。

①開始日時：4月12日（月）

②対象施設

施設名	種別	所在地	対象者数
ふじの里	特別養護老人ホーム	北区	190人
安田記念緑風苑	介護老人保健施設	西区	260人

③接種対象者

- ・当該高齢者入所施設に入所されている高齢者
- ・当該高齢者入所施設の従事者

※接種希望者は今後確認予定

※施設入所者以外の高齢者への接種は、十分なワクチン供給が確定した段階で、施設での接種と並行して開始する予定